

三重県視聴覚ライブラリー

おすすめ 平和教育作品のご案内

視聴覚ライブラリーでは県内の団体(学校・自治会・公民館など)に向け
視聴覚教材や機材の貸出を行っています。

特に教材については全て著作権処理済み(団体上映権・団体貸出権付帯済み)の
作品を取り揃えていますので、安心して無料でご利用いただけます。



録画や録音など著作権法に触れる場合、営利目的、特定の政党または宗教の宣伝・広報活動にはご利用いただけません。



2025.7

ドキュメンタリー作品

α700 『The A-bomb ヒロシマで何が起きたか』(46分)

広島の実爆被害を、熱線、爆風、救護活動、放射線の4つに分けて紹介する作品です。当事者の証言を織り交ぜながら、被害の実態や今も続く放射線の脅威を、原爆を知らない世代にも分かりやすく伝える内容です。

α585 『さとうきび畑の詩 ^{ちゅうしま}清ら島 ^{まぶに}沖縄～摩文仁からのメッセージ～』(32分)

沖縄の自然や歴史、文化、平和を願う県民の姿をわかりやすくまとめた作品で、平和学習、沖縄について知る教材として活用できる内容になっています。

映画作品

α699 『涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて』(28分)

第34回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣賞を受賞した「戦争を次世代へ伝えて」をもとに映画化された作品。ある中学生が曾祖父をはじめとした戦争経験者の話を聞きながら戦争の足跡を資料映像で辿っていく。【日本語字幕あり(吹き替えなし)】

アニメ作品

d166 『いわたくんちのおばあちゃん』(20分)

運動会の日、みんなで記念写真を撮ろうとすると、いわたくんちのおばあちゃんは「イヤーよ」と笑って断ります。その理由は、戦争の時の辛い体験にありました。主人公の寛太は、おばあちゃんの話聞くうちに原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしています。

d190 『ガラスのうさぎ』(85分)

同名のノンフィクション文学のアニメ化作品。東京の下町に暮らす少女の目線を通して、戦争の悲惨さ、恐ろしさを描いた作品です。



三重県総合文化センター

三重県生涯学習センター

TEL: 059-233-1151

FAX: 059-233-1155

- 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
三重県生涯学習センター3階 事務室
- ホームページ: <https://www.center-mie.or.jp/manabi/library>
- 開館時間: 9時～19時
- 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)・年末年始

ホームページ
教材検索

